

女性現実研究所 資料『女性現実物語』

本部セクター (センター)

女現研最高代表・シェアハウス特別顧問への  
相談内容の内訳概要

まるで物語のような女性の現実にかけて

初版：2003年10月13日

最終更新：2019年9月14日

～ 著者 ～

◆女性現実研究所 代表スタッフ (代表ウォッチャー、男女)

～ 編者 (女性からのご相談、ご投稿、情報提供の受付および本著の編集) ～

◆女性現実研究所 幹部女性スタッフ (幹部女性ウォッチャー) 一同

～ ご協力者 (代表および幹部女性スタッフ一同より厚く御礼申し上げます) ～

◆女性現実研究所 一般女性スタッフ (一般女性ウォッチャー) の皆様

(社会人女性スタッフ、主婦スタッフ、女子大学生スタッフ、女子高校生スタッフ)

◆女性現実研究所にご相談、ご投稿、情報提供して下さった全ての女性の皆様

(本著では、女性ご本人から公表のご希望やご許可を頂いた事例のみを取り上げておりますが、全ての女性にメール返信や面談などの個別対応を行っております。)

2004年から2015年頃（女現研設立前）に岩崎純一氏のもとに殺到した、女性たちからの相談の内訳概要です。現在、これらのうち、性的内容を含まないものは引き続き岩崎が管理し、性的内容を含むものは（岩崎からの要請を受けて）女現研が事務所および連携女子シェアハウスのシステムで管理しております。ただし、女現研の女性スタッフらの要望で、女現研の最高代表かつシェアハウスの特別顧問に岩崎が就任しております。

#### 現在の主な収録先（JCW）

【2系1群2類】心理・精神 <https://iwasakijunichi.net/2/1/2/>

【2系1群5類】科学・産業 <https://iwasakijunichi.net/2/1/5/>

【2系1群6類】生活・家政 <https://iwasakijunichi.net/2/1/6/>

#### 私たちの精神・身体症状（精神障害・精神疾患・発達障害・行動障害など）の医学的解説および症例の記録と研究

私たちが岩崎氏にご相談させていただいてきた精神・身体症状の解説です。世界保健機関（WHO）のICDやアメリカ精神医学会（APA）のDSMにも定義されているものです。かつて岩崎氏のサイトの解説ページに、ご許可を頂いてリンクしておりました。岩崎氏は、私たちの寮の母体となった女性グループの頃からご支援いただいている男性研究者です。

入寮される場合、ほぼ個室A～Dが適していますが、一部の身体症状には個室E～Hが適しています。詳しくは、シェアハウス案内資料の、個室A～Dで生活している女性のタイプ（精神症状の女性）、個室E～Hで生活している女性のタイプ（身体症状の女性）、個室A～D・E～Hでの対策をご覧ください。

（身体症状のうち、特殊身体症状（PSAS・ReGSなど）の解説は、別掲の資料をご覧ください。）

（ご協力・ご入居女性たちが岩崎氏に寄せた相談・体験談の一例は、女性たちが岩崎氏に寄せてきた相談・体験談・質問をご覧ください。→現在は申込が必要。）

## 世界保健機関 (WHO) の ICD、米国精神医学会 (APA) の DSM などに定義されている 精神・身体症状や特殊知覚

紫色は、世界保健機関 (WHO) の ICD-10 による障害・疾病のコード。この岩崎氏の解説ページの順序は、ICD と米国精神医学会 (APA) の DSM の折衷案であるため、やや番号が前後しています。

重大な DV (ドメスティック・バイオレンス) や性的暴行・性被害に伴うトラウマや精神疾患、身体上の性関連障害・性依存・性症状などに伴うトラウマや精神疾患など、女性に特有の症状であっても、ICD と DSM に定義される限り、岩崎氏が解説を網羅的に執筆し、提供してくださっています。従って、ご相談は、岩崎氏宛てにお送りいただいても寮宛てにお送りいただいても結構です。

- 精神病理学・精神疾患研究
  - ICD-10 F00-F09 器質性精神障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F10-F19 精神作用物質による精神・行動障害 (この寮では該当女性を受け入れていない。ページ解説も岩崎氏のみ。)
  - ICD-10 F20-F29 統合失調症 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F30-F39 気分障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
    - ICD-10 F22 F30-F39 コタール症候群・妄想性人物誤認症候群 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F40-F42 不安障害・恐怖症・強迫性障害・PTSD (心的外傷後ストレス障害) (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F45 身体表現性障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F44 解離性障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F43 適応障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F50 摂食障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F51 睡眠障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F52-F53 F64-F66 性関連障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F60-F63 人格 (パーソナリティ) 障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F70-F79 知的障害 (他の女性スタッフと一緒に主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F80-F89 発達障害・学習障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F90-F98 小児期・青年期の行動・情緒障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)

↓ 岩崎氏宛てのご相談の例 (現在は、冒頭のリンク先の IJCW に収録。)

- 現代日本人の心理の例 (目次・凡例)
- 現代日本人の心理 (2013)
- 現代日本人の心理 (2012)
- 現代日本人の心理 (2011)
- 現代日本人の心理 (2010)
- 現代日本人の心理 (2009)
- 現代日本人の心理 (2008)
- 現代日本人の心理 (2007)
- 現代日本人の心理 (2006)
- 現代日本人の心理 (2005)
- 現代日本人の心理 (2003)

以下の資料の図 (岩崎氏が作成し、勉強会で使用したもの) は、主に解離性障害者による自己についての実感の報告を模式化したものです。

●研究会・講義テキスト (現在は、冒頭のリンク先の IJCW に収録。)

★自己意識の減失・解体・分裂などを特徴とする精神疾患女性に見られる鋭敏な共感覚について (PDF)

**世界保健機関 (WHO) の ICD、米国精神医学会 (APA) の DSM などに定義されていないが、これらに定義されている精神・身体症状と関連のある特殊知覚**

紫色は、世界保健機関 (WHO) の ICD-10 による障害・疾病のコード。この岩崎氏の解説ページの順序は、ICD と米国精神医学会 (APA) の DSM の折衷案であるため、やや番号が前後しています。

寮にも、精神障害、発達障害、言語障害、性関連障害、自律神経失調症などを抱え、社会が要求するコミュニケーションや結婚生活の実現が困難であるものの、共感覚や直観像記憶などの特殊な個性を持ち、同性との共同生活には参加できる女性が生活しています。これらについてのご相談も、岩崎氏宛てにお送りいただいても寮宛てにお送りいただいても結構です。

- ICD-10 などに定義なし (障害・疾病と見なされない)  
知覚・共感覚 (寮では主に個室 A~D に居住。)

- 共感覚に関連する知覚様態・症状の一覧
  - 概要
  - ICD-10 などに定義なし (障害・疾病と見なされない)  
直観像記憶 (映像記憶) (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F30-F48 に付随する巨視感・微視感  
不思議の国のアリス症候群 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 などに定義なし (障害・疾病と見なされない)  
絶対音感 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 G43  
閃光暗点・偏頭痛 (寮では主に個室 E~H に居住。)
  - ICD-10 などに定義なし (障害・疾病と見なされず、F30-F39 や F40-F42 としての診断が多)  
Highly sensitive person (HSP) (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F80-F89  
読字障害・失読症・ディスレクシア (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F80-F89  
発達障害 (寮では主に個室 A~D に居住。)
  - ICD-10 F80-F89 に付随する特異的高知能と見なされる  
サヴァン症候群 (寮では主に個室 A~D に居住。)

日本共感覚研究会が注意勧告している共感覚セラピーや共感覚ヒーリング、共感覚の科学的・心理的実験についての被害のうち、性的施術や脅迫行為、暴言などに伴う PTSD などの重大なストレス障害

- 日本共感覚研究会 (現在は、冒頭のリンク先の IJCW に収録。)
  - ご質問・ご相談や通報の例

#### 私たちの特殊身体症状 (PSAS・ReGS など) の医学的解説および症例の記録と研究

私たちが岩崎純一氏にご相談させていただいてきた特殊身体症状の解説です。世界保健機関 (WHO) の ICD やアメリカ精神医学会 (APA) の DSM にも定義されているものです。おもに性依存・性的倒錯・性症状を抱える女性のために、旧メンタルケア部と旧女性

女性現実研究所（Women's Real-Life Research Laboratory、WRLRL、ウィルール）

性愛問題研究部が中心となって作成していたコーナーです。現在の女現研にも引き継がれています。

全面的に岩崎氏に任せきりとなっていたこれらの内容・活動ですが、社会通念上、女性自身が扱うことが望ましいとして、岩崎氏よりご依頼・ご要請を受け、私たちに移管しました。各症状のページをご覧ください。

入寮される場合、個室 E～H が適しています。ただし、精神症状を呈している場合、個室 A～D が適しています。詳しくは、シェアハウス案内資料の、個室 A～D で生活している女性のタイプ（精神症状の女性）、個室 E～H で生活している女性のタイプ（身体症状の女性）、個室 A～D・E～H での対策をご覧ください。

（ご協力・ご入居女性たちが岩崎氏に寄せた相談・体験談の一例は、女性たちが岩崎氏に寄せてきた相談・体験談・質問をご覧ください。→現在は申込が必要。）